

Title	dotanco : 印面形状を電子制御可能なスタンプデバイス
Sub Title	dotanco : A stamp device with a computer controlled stamp pattern
Author	川名, 宏和(Kawana, Hirokazu) 稲見, 昌彦(Inami, Masahiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>本研究は、スタンプパターンを電子制御によりユーザの目的にあわせて変化することが可能なスタンプデバイス「dotanco」を提案する。</p> <p>「dotanco」は、ソフトウェアを介してスタンプパターンを変化させることができる。ユーザがGUIからデータを入力すると、スタンプの印面パターンが電子制御によって変化し、次々に図柄を表示させることができる。これまでスタンプの印面は静的であり、スタンプパターンは変わらない物であった。本研究で提案する「dotanco」はスタンプのパターンを変化させることができるのでユーザは任意のスタンプパターンを連続的に出力することができる。またスタンプというモバイル性を利用し、ユーザの任意の場所にスタンプすることができる。本研究では、スタンプをモチーフとしてデバイスとソフトウェアを開発した。スタンプの印面を電子制御により可制御にすることは、つまりスタンプに時間軸を与え、従来は静的なものであったスタンプにインタラクシオン性や情報提示などの拡張性をもたせることにつながる。また、電子制御により印面を変化させ、ARマーカを生成できることから、スタンプデバイスを拡張現実感のインタフェースとして使用することもできる。</p>
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第157号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0157

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011 年度 修士論文

dotanco:

印面形状を電子制御可能なスタンプデバイス

川名 宏和

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学)授与の要件として提出した修士論文である。

川名 宏和

指導教員：

稲見 昌彦 教授 (主指導教員)

杉浦 一徳 准教授 (副指導教員)

審査委員：

稲見 昌彦 教授 (主査)

杉浦 一徳 准教授 (副査)

石倉 洋子 教授 (副査)

dotanco:

印面形状を電子制御可能なスタンプデバイス

内容梗概

本研究は、スタンプパターンを電子制御によりユーザの目的にあわせて変化することが可能なスタンプデバイス「dotanco」を提案する。

「dotanco」は、ソフトウェアを介してスタンプパターンを変化させることができる。ユーザがGUIからデータを入力すると、スタンプの印面パターンが電子制御によって変化し、次々に図柄を表示させることができる。これまでスタンプの印面は静的であり、スタンプパターンは変わらない物であった。本研究で提案する「dotanco」はスタンプのパターンを変化させることが出来るのでユーザは任意のスタンプパターンを連続的に出力することができる。またスタンプというモバイル性を利用し、ユーザの任意の場所にスタンプすることができる。本研究では、スタンプをモチーフとしてデバイスとソフトウェアを開発した。スタンプの印面を電子制御により可制御にすることは、つまりスタンプに時間軸を与え、従来は静的なものであったスタンプにインタラクティブ性や情報提示などの拡張性をもたせることにつながる。また、電子制御により印面を変化させ、AR マーカを生成できることから、スタンプデバイスを拡張現実感のインタフェースとして使用することもできる。

キーワード

Interaction, TUI, Flow, Stamp, Printmedia, AugmentedReality

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

川名 宏和

dotanco:

A stamp device with a computer controlled stamp pattern

Abstract

In this research, an electronically controlled pattern changing ink stamp device "dotanco" is proposed.

"dotanco" changes its stamp pattern through the use of software. When the user inputs data through a GUI, the stamp pattern of the stamp device changes by computerized control, and can change from one pattern to the next. Until now, stamp faces were static, and the patterns of stamps did not change. The proposed "Dotanco" in this research allows users to output different stamp patterns of their choice repeatedly. The mobility of stamps also allow users to stamp in places of their choice. In this research, a stamp was used as a motif for the development of the device and software. By being able to control the stamp pattern through computerized control, a time axis was added to the stamp, making it possible to augment the once static stamp, adding more interactions and making it present more information.

Also, by computerized control of the stamp pattern, AR markers can be created, making it possible for the stamp device to be used as an interface for augmented reality.

Keywords:

Interaction, TUI, Flow, Stamp, Printmedia, AugmentedReality

Graduate School of Media Design, Keio University

Hirokazu Kawana